カーボンレポー

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模 事業所を対象)により東京都に報告したCO。排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0416

報告書提出

三井住友信託銀行株式会社

プレミア道玄坂ビル

東京都渋谷区道玄坂1-18-3



CO₂排出原単位 実績年度 年間CO2排出量 延床面積 主たる用途 (延床面積当たりの年間CO₂排出量) 2721.71 m² 2012 年 事務所 166 t 60.6 kg-CO₂/m²

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、小規模) ベンチマーク CO2排出原単位 レンジ (kg-CO₂/m²)の範囲 A4 Α4 34.1 37.2 A3+ 34.1 **A3** 37.2 40.3 A3-40.3 43.4 \sim A2+ 43.4 46.5 A2 46.5 49.6 A2-49.6 52.7 A1+ 52.7 55.8 Α1 55.8 58.9 A1-58.9 61.9 平均值 B2+ 61.9 65.0 B2 65.0 68.1 В1 B2-71.2 68.1 B1 71.2 92.9 С 92.9

[※]ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO2排出水準 (CO2排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標 (ベンチマーク) 解説書』(東京都 環境局発行)を参照)

[※]CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。 ※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

・ 地球温暖化対象の美胞仏流		
	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	テナントにエネルギー使用量提供	テナントへの温暖化対策協力依頼
		使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握	関連他者からの情報を加えて把握	時間的に詳細に把握
		主要設備の使用状況の把握
運用対策	共用部照明のフロアごとの管理	階段照明の管理手法の検討・実施
		自動販売機の休日・夜間照明停止
		外灯等の点灯時間の季節別管理
	空調フィルターの清掃・点検	換気フィルターの清掃・点検
設 備 保 守 対 策		
設 備 導 入 対 策		
	支払表より、たこ 次の採用	호상호명매=> - ^ 소설묘/무실 >
	高効率パッケージの採用	高効率照明ランプの採用(屋外)
		全熱交換器の導入

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

プレミア道玄坂ビルでは、温度設定や照明器具の間引き等の省エネを入居者と一体になって進めています。 また、改修前に省エネの検証を行い、空調の高効率機器への全館更新やエントランスのLED照明への更新 を実施しました。平成24年度のCO2排出実績は、3年前よりも10%以上削減しています。 現在は入居者に対して省エネの啓蒙を図り、空調ゾーニングやロスナイ使用方法の見直し等、新たな取り組 みを行っております。

◆ 注記

ビルのCO2排出原単位(延床面積当りの年間CO2排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO2排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO2排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO2排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。